笑顔を生みだす人と自然と地域のつながり

『児童の豊かな成長に寄与できる保育環境を整える』

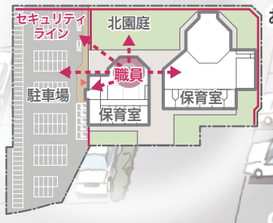
地域に開かれ地域に守られた安心・安全の佇まい、陽のぬくもり・風の息づかいや緑のそよぎあふれる環境、木の香りに包まれた健康な場、学びと成長の多様な空間に満ちた保育環境を実現します。

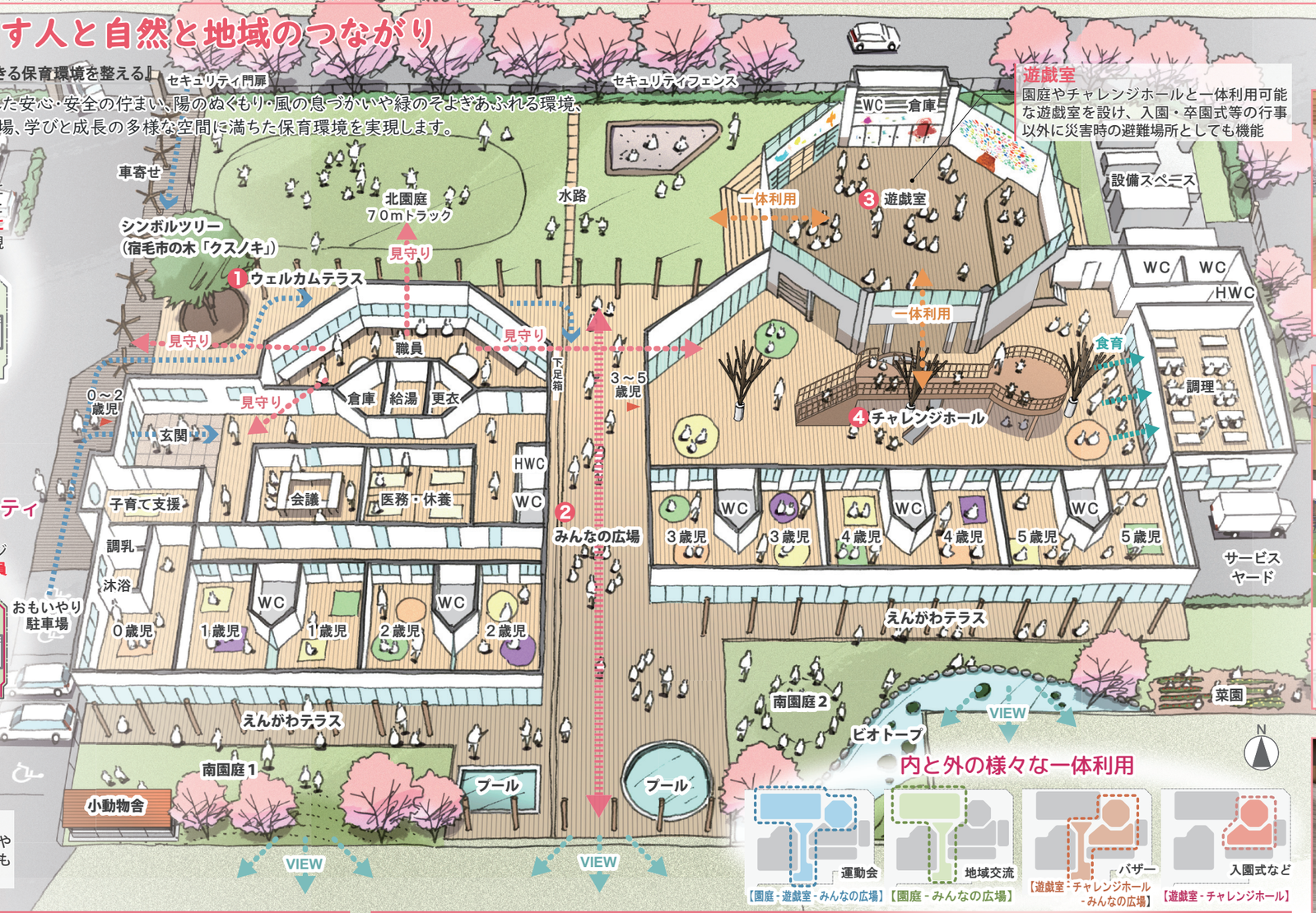
送迎と動線計画

思いやり駐車場から**雨に濡れず**に直接アプローチ。０～２歳児と３～５歳児の**送迎動線を明確に分離**するとともに、職員の視線が行き届く動線計画を実現。

安心・安全のセキュリティ

敷地は柵などを適切に計画。
駐車場・北園庭・保育室・チャレンジホール・みんなの広場など**職員の視線**が行き届く計画。





子育て支援

気軽に立寄り親子の情報交換や子ども同士のふれあいの場ともなる子育て支援室を提案

遊戯室

園庭やチャレンジホールと一体利用可能な遊戯室を設け、入園・卒園式等の行事以外に災害時の避難場所としても機能

内と外の様々な一体利用

1 登園が楽しくなる「ウェルカムテラス」

- みんなの広場につながる玄関アプローチ部分に職員室を配置し園庭から園舎までの見守りが出来る計画とします。

2 空間をつなぐ「みんなの広場」

- チャレンジホールや園庭、各保育室と一体となりタテヨコにつながる「みんなの広場」を計画します。
- 屋根のある半屋外空間が、子どもたちを自然に引き込む魅力的な空間となり、建物の一体感、動線の連続性を高め、人や建物をつなぎます。

3 内と外につながる「遊戯室」

- チャレンジホールとの一体利用や北園庭との一体利用など、子どもから大人まで幅広い活動を視野に内と外に一体利用可能なフレキシビリティのある遊戯室を計画します。

4 木が香る、明るく開放的な「チャレンジホール」

- 活動量が多い３～５歳児の保育室に近接した「チャレンジホール」は市内産の檜や杉を積極的に活用した温もりのある空間づくりを行い、遊びから学びまで晴雨を問わず様々な活動を促します。

敷地の地盤特性に配慮した配置計画

敷地利用計画の検討

- 開発条件から側溝により**敷地が分断**されます。２階建ての１棟、敷地を横断する平屋建ての１棟、側溝を挟む平屋建ての２棟の比較検証から**地盤との整合性**や**見守りのしやすさ**、**保育室の日照**や**災害時の利便性**等を踏まえて当案を選定しました。

	A	B	C	D	E
	園舎 駐車場 園庭	駐車場 園庭 園舎	駐車場 園舎 園庭	駐車場 園舎 園庭	駐車場 園庭 園舎 園舎 園庭
液状化	×	◎	△	△	○
平屋	２階建 △	２階建 △	◎	◎	◎
水路	◎	◎	×	×	◎
保育室南側採光	△	△	◎	◎	◎
職員室からの見通し	△	△	◎	◎	◎
遊戯室・園庭の一体利用と地域開放	△	△	◎	△	◎
災害時利用	△	○	△	○	◎
ＢＣＰ	△	△	△	△	◎

敷地利用比較検討表

すくすく育つ子どもたちの保育環境のあり方

一体的に空間利用が可能な保育室

- 各保育室を可動間仕切りにより緩やかに仕切り、**一体的な空間利用が可能**なフレキシビリティの高い保育室を計画します。
- 仕上げや窓枠、作り付け家具などには、見た目、温もりや匂い、調湿効果など**木材の特性を最大限活かし**、子どもたちの感性をより豊かにする設えを計画します。

２室一体の保育室利用イメージ

学習のきっかけ、保育のサポートとなるサイン

- 子どもたちの生活の中にアルファベットや数字などを散りばめ、**学習のきっかけ**をつくります。
- トイレの使用方法や片付けの仕方などのイラストで**保育をサポート**します。

学習のきっかけをつくるサイン

保育をサポートするサイン計画

食の大切さを伝える

- 日々の食の大切さを伝える**調理室の「見える化」**など、子どもたちの食育環境を整備します。

お楽しみ菜園

- “育て・収穫し・食べる”**楽しみながら学ぶ**菜園活動を計画します。

安心ビオトープ

- 水や泥・虫など豊かな自然と安心の**ふれあいスペース**を計画します。

調理室の “見える化”